

令和5年度 長野県池田工業高等学校 【定時制】 学校評価表

86 長野県池田工業高等学校 定時制

学校教育目標	自らの力で問題を解決する実践力と地域に貢献できる創造力豊かな人づくりを目指す
重点目標 (長中期的目標)	<ul style="list-style-type: none"> 個性や能力を伸ばし、安全で安心して学べる学校づくりを進める 地域との連携を図り、地域に根ざした学校づくりを進める 生徒の自立を促し、一人ひとりの能力の開発と基礎学力の定着を図る
今年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒にとって自己肯定感、自己有用感が持てる居場所のある学校づくりを目指す 家庭、および関係機関との連携を密にし、きめ細かな教育活動を行う 生徒の自立を支援しながら、基礎学力の定着を図る 生徒一人ひとりの人権を尊重し、いじめなどない安全・安心な環境づくりに努める

領域	対象	評価項目	評価の観点	評価 (A・B・C)	コメント (なるべく具体的に)
教務	教	①学習活動や行事運営の円滑な推進	<ul style="list-style-type: none"> 各種行事や総合的な探究の時間について年間計画を作成し、円滑な実施ができたか。 生徒一人ひとりが落ち着いて学習に取り組める環境を整えることができたか。 	B	今年度は計画通り行事は実施できた。総合的な探究の時間については感染対策をしながら計画通り行えた。来年度も行事を通して生徒が主体性をもってできるように環境を整える。
		②安全対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルを周知・理解することができたか。 安全確保ができるよう避難訓練等の実施を工夫できたか。 	A	安全対策に努めて日々注意を促した。今後も、天候不順時や暗闇での登下校の安全に注意を喚起したい。日々や月々の健康観察に努めた。地震による出火を想定した避難訓練を5月と10月に実施した。
		③基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある授業展開をし、生徒個々に対応し配慮された教科指導がなされたか。 社会生活を送る際に必要となる基礎学力の定着がなされたか。 	A	ICT機器の活用等、各教科で工夫を凝らし、基礎学力の定着を含め、生徒個々の学習を支えるような教科指導ができた。今後も生徒個々へのきめ細やかな対応に努めたい。
		④教育課程	<ul style="list-style-type: none"> 定通併修や高卒認定試験等、学校外における学修成果の認定を積極的に行い、学校設定科目や個別指導により、生徒の多様な進路希望への対応がなされたか。 	B	今年度は定通併修の生徒はいなかった。引き続き併修制度の維持に努めていきたい。
生徒生活	育	①安全・安心な学校生活の実現	<ul style="list-style-type: none"> 登校指導や校外指導を行い、問題行動の未然防止・早期発見に努めたか。 成年年齢引き下げによる重要な権利とそれに伴う責任を周知させることができたか。 通学方法を把握し、安全に通学する指導がされているか。 	B	今年度も大きな事故や問題行動はなかった。定時制課程は、未成年・成人・20歳以上の生徒や要支援生徒が混在しているため、一律での指導は難しく個々に対応したが指導に苦慮するケースがあった。また、心の不安定さを抱えている保護者への対応にも苦慮する場面が増加しつつあり全職員で情報共有にさらに努めたい。
		②いじめ防止・不登校への支援	<ul style="list-style-type: none"> いじめが重大事案に発展することなく、最小限にとどめられるように、早期発見のできる生徒・保護者との関係を築けたか。 不登校生徒への細やかな支援ができたか。 	A	幾つかのトラブルはあったが、素早く対応しいじめ問題には発展しなかった。生徒へのいじめアンケート・アセス・カウンセリングの活用や、自殺予防の職員研修などを行い、安心・安全な居場所として学校生活への定着に努めた。
		③教育相談活動	<ul style="list-style-type: none"> 生徒、家庭の抱える課題について相談にのり、教育相談、カウンセリング事業が積極的に活用できたか。 	B	希望する生徒が定期的に面談を実施することが出来た。年度の初めに是認面談を実施し、全ての生徒がカウンセラーと顔合わせをし、相談しやすい環境づくりにもなった。
進路指導	動	①個に応じた進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との共通理解のうえで、生徒の希望、適性、能力に応じた進路選択の支援ができたか。 ハローワークとの連携を密にし、進路情報を有効に活用することができたか。 	B	生徒の希望に沿いつつ、保護者と連絡を取りながら進路選択を進めている。希望する生徒に対しては、ハローワークおよび外部機関と密接に連携をとりながら進路決定に向けての支援を進めている。
		②キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 社会的、職業的に自立していくための基礎的、基本的な力を育てるために、職場体験やライフスキルトレーニング等を通じて有効な指導を行うことができたか。 	A	職場体験は候補となる事業所を増やし、生徒の希望に沿った体験を実施した。加えて、年2回の進路学習、学年ごとのライフスキルトレーニングを実施し、自己理解を深めるとともに、キャリア発達を促す基礎力を養うことができた。
生徒会	生	①「自主的活動」の重視	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の生徒会活動や学校行事にて、「自主的活動」の場を設定することにより、達成感や自己肯定感・自己有用感を育むことができたか。 	A	多くの生徒会行事では、生徒が主体となり、計画・運営し、活動を実施した。また、新たな企画を作りながら、レベルアップを図っていった。
		②クラブ活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> クラブ活動を通して、生徒が互いに協力し合い、適切な人間力育成を行えたか。 クラブ活動にて、目標を持ち、自発的に活動できるような指導ができたか。 	A	1年生4名が入部したこともあり、日ごろの部活動もより活発になっていった。さらに、新人戦にも出場でき、生徒自身の成長や自信につながる経験ができた。来年度も、新たな部員が入るよう、積極的な部活動にしていきたい。
学校環境の整備	環境整備	①保健教育・保健管理	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断、健康教育を通して、生徒一人一人が自分の体と健康に関心を持ち、生涯にわたって心身ともに健康な生活を送るための取り組みがなされたか。 	A	歯科検診にて受診勧告対象となる生徒が多く、通知をしても受診に繋がりにくい現状があった。歯科は緊急性が低いため、勧告も難しい。春休み等長期休暇を利用して受診出来るよう再度生徒やその保護者にも通知したい。
		②保健衛生	<ul style="list-style-type: none"> 夜間の学校生活に対する安全衛生の管理点検と、校舎内外の美化、整理整頓がなされ、学習環境が良好に整えられたか。 	A	日頃の点検に加え、学校医とも連携しながら学習環境についての整備ができた。冬季の換気が不十分であるため、感染症対策も含めて授業事のこまめな換気を呼びかけていきたい。
	開かれた学校づくり	①保護者に対する説明責任	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動の状況や学校の指導方針、学校での生徒の様子などについて、保護者に十分な説明責任をはたすことができたか。 公開授業等を行ったか。 	A	公開授業（5月実施）や保護者懇談会（7月、12月）の実施を通して、保護者に学校の様子等を知っていただくことができた。また保護者アンケートを年2回実施し、その結果をオクレンジャーやHPを通して、保護者に効果的に知らせることができた。
		②地域社会への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 定時制の活動をホームページ等で積極的に中学校、地域に広報できたか。 様々な機会を通じて地域との連携を図ることができたか。 	B	ホームページの更新を定期的に行い、積極的に校外への情報発信ができた。職場体験や地域清掃、地域の伝統文化である相道寺焼の陶芸教室を実施することにより、地域の方々との連携を図ることができた。
		③学校、関係機関との情報交換と連携	<ul style="list-style-type: none"> 各中学校、全日制課程、近隣の定通課程のもつ学校、近隣市町村教育委員会、支援機関との連携や意見交換を積極的に行い課題や問題点の共有がなされたか。 	A	さまざまな会議で、不登校や発達障がいに関連する生徒への対応について、近隣の中学校や定通課程の高校等と情報交換・共有をすることができ、生徒への支援につなげることができた。
その他	職員	職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 校内外の研修会などに参加し、研修の成果や情報などを教職員間で共有できるよう務めたか。 	A	職員が参加した校外の研修の内容をほかの職員と共有し、理解を深めていくためのミニ研修を実施した。来年度も気軽に情報共有ができ、それぞれがアップデートを図ることのできる研修の機会を増やしていきたい。